

平成 20 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 アルゼ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 余語 邦彦
 (JASDAQ・コード 6425)
 問合せ先 経理部長 谷口 茂紀
 電話番号 03-5530-3055 (代表)

平成 20 年 3 月期通期 (連結) 業績予想の修正及び通期 (個別) 業績見通し並びに、
 特別利益の発生及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年11月26日付「平成20年 3 月期 中間決算短信」にて発表いたしました平成20年 3 月期通期 (連結) 業績予想及び、通期 (個別) 業績見通し並びに、特別利益の発生及び期末配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 通期 (連結) 業績予想の修正及び通期 (個別) 業績見通し並びに特別利益の発生

1. 平成 20 年 3 月期通期 (連結) 業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	65,000	10,400	10,000	6,000
今回修正 (B)	73,400	13,700	20,700	27,000
増減額 (B - A)	8,400	3,300	10,700	21,000
増 減 率 (%)	12.9%	31.7%	107.0%	350.0%
(ご参考) 前年度実績 (平成 19 年 3 月期)	35,580	△3,205	△6,764	9,169

2. 平成20年3月期通期（個別）業績見通し（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）※	32,033	△4,369	△4,635	△10,122
今回修正（B）	61,500	9,500	10,000	7,500
増減額（B－A）	29,467	13,869	14,635	17,622
増減率（%）	92.0%	－	－	－

※当社は、平成20年3月期の個別通期業績予想を開示しておりませんでしたので、前回予想数値は平成19年3月期の実績値を用いております。

3. 通期（連結）業績予想修正の理由及び特別利益の発生

パチスロ・パチンコ事業におけるパチスロ機の市場環境は、上半期に旧基準パチスロ機（4号機）から新基準パチスロ機（5号機）への入れ替えが完了し、平成19年10月以降は5号機だけの市場に完全移行いたしました。過度に射幸性の高い機械から射幸性の低い機械への入れ替えによる影響もあり、市場規模が一時に比較して減少し、厳しい市場環境の変化にさらされてまいりました。

このような状況の中で、当社は平成19年6月に発売した「青ドン」、同年11月に発売した「赤ドン」の5号機2機種が市場での高い評価を得て、販売台数の増加に大きく貢献いたしました。これにより、パチスロ機における販売、レンタル、ソフト交換の合計200千台の期初目標に対し、当第3四半期までの累計販売台数は178千台（販売及び設置154千台、ソフト交換24千台）であり、達成率は89%となっております。加えて、当第4四半期ではパチスロ機「ウルトラキューティーンハニー」「リーチ目発見スロガッパ」の2機種を発売いたしました。さらに、筐体費用を月額1万円としパチンコホール様の遊技機費用負担を軽減する目的で、期間限定のキャンペーン「新チャレンジプラン」を展開する予定であり、より価格競争力を高めた販売施策を実施することにより、上述の期初目標台数200千台は達成できるものと見込んでおります。

このように、台数ベースではほぼ期初目標どおりとなる見込みですが、販売及びレンタル設置の構成比率が想定より高くなったため、売上高は前回予想65,000百万円に対し8,400百万円増加し73,400百万円、営業利益は売上高の増加に伴い3,300百万円増加し13,700百万円と大幅増加となる見込みであります。

経常利益につきましては、持分法適用関連会社であるウィン・リゾーツ社（NASDAQ：WYNN）が2007年度第1四半期より純利益が黒字化したため、当社は持分法による投資利益を含めた営業外収益として6,900百万円を計上する見込みであります。これは当社の前回予想には含めておりませんでした。当社の経常利益に大きく貢献することとなりました。

この結果、経常利益は前回予想10,000百万円に対し10,700百万円増加し20,700百万円となる見込みであります。

当期純利益は、当社100%子会社である株式会社システムスタッフ（現アルゼマーケティングジャパン株式会社）が固定資産の譲渡を行い3,600百万円の固定資産の売却益を特別利益として計

上いたしました。また、平成19年10月にウィン・リゾート社が増資を行ったため、当社グループの持株比率が24.1%から21.5%へ低下いたしました。これにより、持分法会計適用によるみなし売却益14,000百万円が特別利益として発生する見込みであります。一方でウィン・リゾート社の自己株式取得による持分法投資損失や、当社における棚卸資産処分損等により3,900百万円が特別損失として発生する見込みであります。

以上の結果、当期純利益は前回予想6,000百万円に対し21,000百万円増加し27,000百万円となる見込みであります。

4. 通期（個別）業績見直し修正の理由

通期個別業績予想につきましては、平成19年10月より当社が事業持株会社へ移行したことに伴い、分社化後の各社の収益分配、費用分配について未確定要素が多分にあり、開示を行うことは誤解を招く可能性があるため開示を控えさせて頂いておりました。その後、分社化後の各社の収益分配、費用分配について確定したため、通期個別業績見直しは売上高が61,500百万円、営業利益が9,500百万円、経常利益が10,000百万円、当期純利益が7,500百万円となる見込みであります。

II. 期末配当予想の修正

1. 配当予想修正の理由

当社は1株あたり20円の配当を予定しておりましたが、上記「3. 通期（連結）業績予想修正の理由」により、通期業績予想の大幅な上方修正を見込んでいるため、株主の皆様に対する利益還元の観点から、以下のとおり期末配当予想を60円に増額いたします。

なお、前期の期末配当につきましても20円から50円への大幅な増配を実施しております。

2. 修正の内容

基準日	中間配当金	期末配当金	年間配当金
前回予想	—	20円00銭	20円00銭
今回修正	—	60円00銭	60円00銭
前期（平成19年3月期）実績	—	50円00銭	50円00銭

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上